

# 温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

申請者	住所	和歌山県和歌山市西浜1660-180
	氏名	株式会社 山本進重郎商店
源泉名 源泉所在地	西浜御殿の湯 和歌山県和歌山市湊字西ノ坪19	
採水場所	源泉ポンプ吐出口	

## ●湧出地における調査および試験成績

調査および試験者	日本水処理工業株式会社 森 貴将	調査および試験年月日	令和2年7月21日
泉温	28.2℃ (気温:34℃)	湧出量	40L/min (掘削・動力揚湯)
知覚的試験	無色澄明塩味金気臭		
pH値	7.4 (25℃)		
ラドン (Rn) *	— ×10 <sup>10</sup> Ci/kg ( — Bq/kg ・ — M・E/kg ) [Ci:キュリー Bq:ベクレル M・E:マッヘ単位] *液体シンチレーションカウンターによる定量		

## ●試験室における試験成績

試験者	日本水処理工業株式会社 松岡 秀行	分析終了の年月日	令和2年8月4日
知覚的試験	淡黄色澄明塩味金気臭赤褐色沈殿有り		
pH値	7.0 (25℃)	電気伝導率	266cmS/m (25℃)
密度	1.011 g/cm <sup>3</sup> (20℃/4℃)	蒸発残留物	21.5 g/kg (180℃)
総硫黄(S)	0.1 mg/kg 未満		

## 試料 1kg中の成分：分量および組成 [※単位：下記備考欄参照]

陽イオン	mg	mval	mval%	陰イオン	mg	mval	mval%
水素イオン(H <sup>+</sup> )	0.1未満	—	—	ふっ化物イオン(F <sup>-</sup> )	0.9	0.05	0.02
リチウムイオン(Li <sup>+</sup> )	1.7	0.24	0.08	塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )	10900	307.45	98.01
ナトリウムイオン(Na <sup>+</sup> )	6000	260.99	82.61	臭化物イオン(Br <sup>-</sup> )	39.4	0.49	0.16
カリウムイオン(K <sup>+</sup> )	18.7	0.48	0.15	ヨウ化物イオン(I <sup>-</sup> )	3.3	0.03	0.01
アンモニウムイオン(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	15.8	0.88	0.28	硫化水素イオン(HS <sup>-</sup> )	0.1未満	—	—
マグネシウムイオン(Mg <sup>2+</sup> )	326.0	26.82	8.49	硫酸イオン(SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	1.7	0.04	0.01
カルシウムイオン(Ca <sup>2+</sup> )	516.0	25.75	8.15	チオ硫酸イオン(S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.1未満	—	—
ストロンチウムイオン(Sr <sup>2+</sup> )	20.9	0.48	0.15	亜硝酸イオン(NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )	0.1未満	—	—
バリウムイオン(Ba <sup>2+</sup> )	3.6	0.05	0.02	硝酸イオン(NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	1.5	0.02	0.01
アルミニウムイオン(Al <sup>3+</sup> )	0.2	0.02	0.01	りん酸水素イオン (HPQ <sup>-</sup> )	0.1未満	—	—
マンガンイオン(Mn <sup>2+</sup> )	0.4	0.01	0.00	炭酸水素イオン(HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	342.8	5.62	1.79
鉄(II)イオン(フェロイオン)(Fe <sup>2+</sup> )	5.6	0.20	0.06	炭酸イオン(CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.1未満	—	—
鉄(III)イオン(フェロイオン)(Fe <sup>3+</sup> )	0.1未満	—	—				
陽イオン 計	6909	315.92	100	陰イオン 計	11290	313.69	100

## 遊離成分

非解離成分	mg	mmol	溶存ガス成分	mg	mmol
メタけい酸 (H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	30.5	0.39	遊離二酸化炭素(遊離炭酸) (CO <sub>2</sub> )	72.6	1.65
メタほう酸 (H <sub>2</sub> BQ)	318.0	7.26	遊離硫化水素 (H <sub>2</sub> S)	0.1未満	—
メタ亜ひ酸 (HAsQ)	0.1未満	—			
非解離成分 計	348.5	7.65	溶存ガス成分 計	72.6	1.65
溶存物質 (ガス性のものを除く)		18.547 g/kg	成分総計	18.620 g/kg	

## その他の微量成分

総ひ素	0.006 mg	亜鉛	0.05 mg
銅	0.02 mg	カドミウム	0.01 mg未満
鉛	0.01 mg未満	総クロム	0.01 mg未満
総水銀	0.00005mg未満		

泉 質	ナトリウム-塩化物強塩温泉 (高張性・中性・低温泉) 旧泉質名：強食塩泉 (Na-Cl 強塩泉)
禁忌症、適応症	「温泉分析書別表」に記載する。

[備考]

※単位 mval・・・ミリバル mval%・・・ミリバル%  
mmol・・・ミリモル

**日本水処理工業株式会社**  
〒530 0046 大阪市北区菅原町8番14号  
TEL:06(6363)6370 FAX:06(6363)6371  
E-mail:kensa@mizu-shori.com http://www.mizu-shori.com  
温泉成分分析機関 大阪府第5号  
計量証明事業登録(濃度) 大阪府第1013号

# 温泉分析書別表(浴用)

源泉名	西浜御殿の湯		
源泉所在地	和歌山県和歌山市湊字西ノ坪19		
採水場所	源泉ポンプ吐出口	調査及び試験日	令和2年7月21日
温泉分析申請者	株式会社 山本進重郎商店 和歌山県和歌山市西浜1660-180		
泉 質	ナトリウム-塩化物強塩温泉 (高張性・中性・低温泉) 旧泉質名：強食塩泉 (Na-Cl 強塩泉)		
分析結果による療養泉分類に基づく禁忌症、適応症等は環境省自然環境局長通知(平成26年7月1日)環自総発第1407012号によれば次のとおりである。			
浴 用	禁忌症	一般的	病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など 身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみの あるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期
	泉質別	該当項目なし	
適 応 症	一般的	筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、 捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、 軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、 ストレスによる諸症状(睡眠障害など)、病後回復期、疲労回復、健康増進	
	泉質別	きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症	

浴 用 の 方 法 及 び 注 意	温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。
	<p>ア. 入浴前の注意</p> <p>(ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。</p> <p>(イ) 過度の疲労時には身体を休めること。</p> <p>(ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。</p> <p>(エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。</p> <p>(オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。</p> <p>(カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。</p> <p>イ. 入浴方法</p> <p>(ア) 入浴温度 : 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。</p> <p>(イ) 入浴形態 : 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。</p> <p>(ウ) 入浴回数 : 入浴開始後数日間は、1日当たり1~2回とし、慣れてきたら2~3回まで増やしてもよいこと。</p> <p>(エ) 入浴時間 : 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3~10分程度とし、慣れてきたら15~20分程度まで延長してもよいこと。</p> <p>ウ. 入浴中の注意</p> <p>(ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。</p> <p>(イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。</p> <p>(ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。</p> <p>エ. 入浴後の注意</p> <p>(ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと)。</p> <p>(イ) 脱水症状等为了避免のため、コップ一杯程度の水分を補給すること。</p> <p>オ. 湯あたり</p> <p>温泉療養開始後おおむね3日~1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。</p> <p>カ. その他</p> <p>浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。</p>

(注)この別表は温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

**日本水処理工業株式会社**  
〒530 0046 大阪市北区菅原町8番14号  
TEL:06(6363)6370 FAX:06(6363)6371  
E-mail:kensa@mizu-shori.com http://www.mizu-shori.com  
温泉成分分析機関 大阪府第5号  
計量証明事業登録(濃度) 大阪府第1013号